

## 令和2年度匝瑳市後期高齢者医療特別会計決算の概要

市民課保険料班  
0479-73-0086

令和2年度の後期高齢者医療特別会計決算は、歳入が前年度比7.9%の増、歳出が7.9%の増となりました。その結果、実質収支額は175万5千円の黒字となりました。

### 1 令和2年度後期高齢者医療特別会計決算収支の状況

令和2年度の後期高齢者医療特別会計の決算は、歳入が前年度比7.9%増の4億7,110万5千円、歳出が前年度比7.9%増の4億6,935万円となりました。

その結果、令和2年度の実質収支額は、175万5千円の黒字となりました。

(単位:千円)

区分	R2年度 ①	R元年度 ②	比較 ③=①-②	増減率 ③/②
歳入総額 A	471,105	436,627	34,478	7.9%
歳出総額 B	469,350	434,997	34,353	7.9%
歳入歳出差引額 C=A-B	1,755	1,630	125	7.7%
翌年度へ繰り越すべき財源 D	0	0	0	—
実質収支額 E=C-D	1,755	1,630	125	7.7%

実質収支額の推移

(単位:千円)

年度	H28	H29	H30	R元	R2
実質収支額	579	1,485	1,346	1,630	1,755

### 2 歳入決算

(単位:千円)

区分	R2年度 ①	R元年度 ②	比較 ③=①-②	増減率 ③/②
後期高齢者医療保険料	325,497	295,043	30,454	10.3%
繰入金	132,483	125,387	7,096	5.7%
繰越金	1,630	1,347	283	21.0%
諸収入	11,385	14,850	△ 3,465	△ 23.3%
国庫支出金	110	0	110	皆増
計	471,105	436,627	34,478	7.9%

#### 《主な増減要因》

- (1) 後期高齢者医療保険料  
保険料の改定等による増加
- (2) 諸収入  
集団健診受診者の減少による減少

〈人口、被保険者数の状況〉

(単位:人)

区 分	R2年度 ①	R元年度 ②	比較 ③=①-②	増減率 ③/②
人口	35,349	35,881	△ 532	△ 1.5%
75歳以上の高齢者人口	6,185	6,296	△ 111	△ 1.8%
被保険者数(障害認定者含む)	6,175	6,278	△ 103	△ 1.6%

※人口、75歳以上の高齢者人口及び被保険者数は年度末

**3 歳出決算**

(単位:千円)

区 分	R2年度 ①	R元年度 ②	比較 ③=①-②	増減率 ③/②
総務費	27,064	26,180	884	3.4%
後期高齢者医療広域連合納付金	431,016	394,251	36,765	9.3%
保健事業費	10,944	13,950	△ 3,006	△ 21.5%
諸支出金	326	616	△ 290	△ 47.1%
計	469,350	434,997	34,353	7.9%

《主な増減要因》

- (1) 後期高齢者医療広域連合納付金  
保険料の増加による納付金の増加
- (2) 保健事業費  
集団健診受診者の減少による減少

〈医療給付費の状況〉現物給付(医科、歯科等)

(単位:円、件)

区 分	R2年度 ①	R元年度 ②	比較 ③=①-②	増減率 ③/②
1人当たり医療費	699,911	710,678	△ 10,767	△ 1.5%
1件当たり医療費	30,081	28,982	1,099	3.8%
1人当たり受診件数	24	25	△ 1	△ 4.0%

〈医療給付費の状況〉現金給付(高額療養費等)

(単位:円)

区 分	R2年度 ①	R元年度 ②	比較 ③=①-②	増減率 ③/②
1件当たり給付費	9,018	8,898	120	1.3%